

市長 四月一日で一般職千六十五人で一人八百三十六万円です。

質問 退職手当負担金が年間一人百二十万円ですが退職者の退職金はいくらか伺います。

市長 十七年度、五十人の退職者があり一人一千八百五十六万円であります。

質問 秋田県は公用車の削減や軽自動車化を進め経費の節減をされるそうですが当市はどう考えるか伺います。

市長 検討し進めて参ります。

質問 学校給食は年間百七十日から百七十五日昼一食ですが、当市各区の方式や職員の現状や一食当り調理コストを伺います。

市長 水沢は二センター三単独校、江刺、前沢、胆沢、衣川は各一センターで業務を行っています。職員数や費用は別表（前頁）に示します。

有料指定ごみ袋の導入は、新たなごみと不法投棄を増大するだけではないか



おいかわ よしお
議員

質問 旧水沢市民のリサイクルとごみ減量化の取り組みは、合併五市町村の中ではもちろん、県当局からも高く評価される実績をあげていました。ところが、水沢区



ごみの減量化は市民全体の取り組みで…

への有料指定ごみ袋の導入は、「水沢市民はレジ袋を使用しているため、袋の中が見えずいろいろなものを一緒にに出している」などという、合併協議会の誤解にもとづく決定によるものです。しかも、有料指定ごみ袋の導入は、新たなごみを生み出し、不法投棄を増大させるだけです。今後新市の「一般廃棄物処理計画」等の検討が行われますが、有料指定ごみ袋の導入問題についてはその中で結論を出すべきではありませんか。

市長 合併協議会の決定は尊重しなければなりません。

質問 有料指定ごみ袋への記名強要は、昨年四月に施行された個人情報保護法の上からも問題があるのではありませんか。

市長 個人情報保護法が制定されたのは、水沢区以外が有料指定ごみ袋を導入した後であり、袋へ

の記名については、市全体の問題でもあるので、今後市民の意見を聞きながら検討いたします。

質問 新市建設計画に盛り込まれていない前沢区の統合小学校や不足している特別養護老人ホームの建設など、教育や福祉の課題は計画見直しの際優先的に盛り込むべきではありませんか。

市長 子供たちのことは優先してやるべきと考えますので、総合計画を作る中で検討したいと思えます。

奥州市のまちづくりについて 地域医療について



ひろし こん
議員

質問 「新市建設計画の実行について」

新市建設計画の各種事業を今後実行していくにあたり事業の優先性や規模、又は全市的なものとするなど検討し直す等の考えがあるか、市長のご見解を伺います。

市長 合併協議での決定を尊重しながらも変化に応じて議会と相談しながら進めてまいりたい。

質問 「(仮)保健福祉市民センター建設について」

この施設については市長もマニフェストにおいて二十一年度

までに施設整備事業を行うとしておりますが、建設はいつ頃になるのか、ご見解を伺います。

市長 メイプルの地下の施設や、他施設との機能の関わりを考慮しながら建設を進めてまいりたい。

質問 「医療体制の整備について」

市民の安心を確保するためにも市内全域の医療体制をどのようにしていくのか、市議会でも早急に奥州市医療体制検討特別委員会等を設置し検討していかなくてはならないと考えますが、市長は奥州市の医療体制をどのようにお考えか伺います。

市長 地域の役割の分担等も考えながら、医療の適切な確保と経営の改善の両方を進めなければならぬと思います。

質問 奥州市医療計画の早期策定が必要と考えますが、市長のお考えを伺います。



医師不足が深刻な総合水沢病院